

事業報告書 (HP 公開用)

講座名	① 令和2年度女団協連続講座パート1「私たちの暮らしと日米地位協定との関わりについて」 ② 令和2年度女団協連続講座パート2 シンポジウム「地方女性議員と語る会」
日時	① 令和2年9月17日(木) 18:00~20:00 ② 令和2年11月10日(火) 18:00~20:00
目的	連続講座をとおして、男女共同参画社会の発展に寄与できる力をつけていきたい
対象	加盟団体会員及び市民・県民の皆さん
講師	① 山本 章子さん ② 仲宗根須磨子 新垣千秋 多和田栄子 上地寿賀子 伊良波純子(コーディネーター)
会場	① ているる 会議室 ② 県総合福祉センター ゆいホール
定員	① 50名 ② 100名
参加者数	① 42名 ② 98名
講演内容(概要)	<p>① 私たちの暮らしと日米地位協定との関わりについて</p> <p>1, 日米地位協定とは 日米地位協定の性格: 外国軍である在日米軍に対する日本の法律適用の免除 ①基地の使用 ②訓練や行動範囲 ③経費負担 ④身体の保護 ⑤税制・通関上の優遇措置 ⑥生活</p> <p>2, 日米地位協定の問題</p> <p>占領期の遺産 米軍機の訓練 自治体の関与 環境汚染 日米地位協定合意議事録 思いやり予算 米軍基地の環境汚染 米軍による民間空港・港の使用 米軍関係者の出入国管理 民事保障</p> <p>② シンポジウム「地方女性議員と語る会」</p> <p>4人の女性議員の立候補までの経過・選挙に関わる資金等の問題・セクハラ、モラハラに関すること・現在の取り組み・今後の活動などに関する報告 発言をとおして女性の政治参画への展望を学び合う。</p>
参加者の声	<p>① ・日米地位協定がこれほどまでに県民の暮らしを規制できる内容になっていることを知らされる。</p> <p>・知らないことが多かったことを実感。反面数々の規制の中で声を上げ、たたかってきた方たちがいて地位協定の内容を変えてきた歴史があることも知りました。</p> <p>・おかしいことに声を上げ続けることの大切さを学びました。もっと地位協定の内容を知りたい。</p> <p>② ・各地で頑張っている女性議員達を誇りにおもいました。</p> <p>・女に何ができるかとか、女は家を守るのが仕事だという風潮がまだまだのこっていることに怒りをおぼえます。</p> <p>・女性が議員になるためには経済面 家族との問題 パワハラの問題などハードルの高さが未だあることを感じます。政治の仕組みとしての女性進出を保障させていくことも大切だとおもいます。</p>



パワーポイントを観ながら学習する参加者

写真①



左手の白いスーツが山本章子さん
地位協定の県民への人権無視の実態を熱く語ってくれました。



女性たちが持てる力を十分に発揮できる社会を目指して！
活躍する地域の女性議員の皆さん

写真②



会場からも積極的な発言が相次ぎました。